

## I. 地域の経済動向調査について

地域の経済動向を把握し、「経営状況の分析」及び「事業計画策定」における基礎資料として活用することを目的として、地域の経済動向調査を実施し分析を行った。

外部データを分析した「滋賀県内の経済動向調査」と、地域内事業所巡回に独自に調査を行ったデータを分析した「彦愛犬地域内の経済動向調査」により、地域の経済動向を明らかにすることを目指した。本年度が初めての調査であり、過去データ等もない状況での調査であったが、調査結果を蓄積することにより価値のある経済動向調査としたい。

使用数値はD I（ディフュージョン・インデックス）とし、増加（上昇・好転・過剰）企業割合から減少（低下・悪化・不足）企業割合を差し引いた値を基本とするが、一部設備投資については実施企業割合とした。

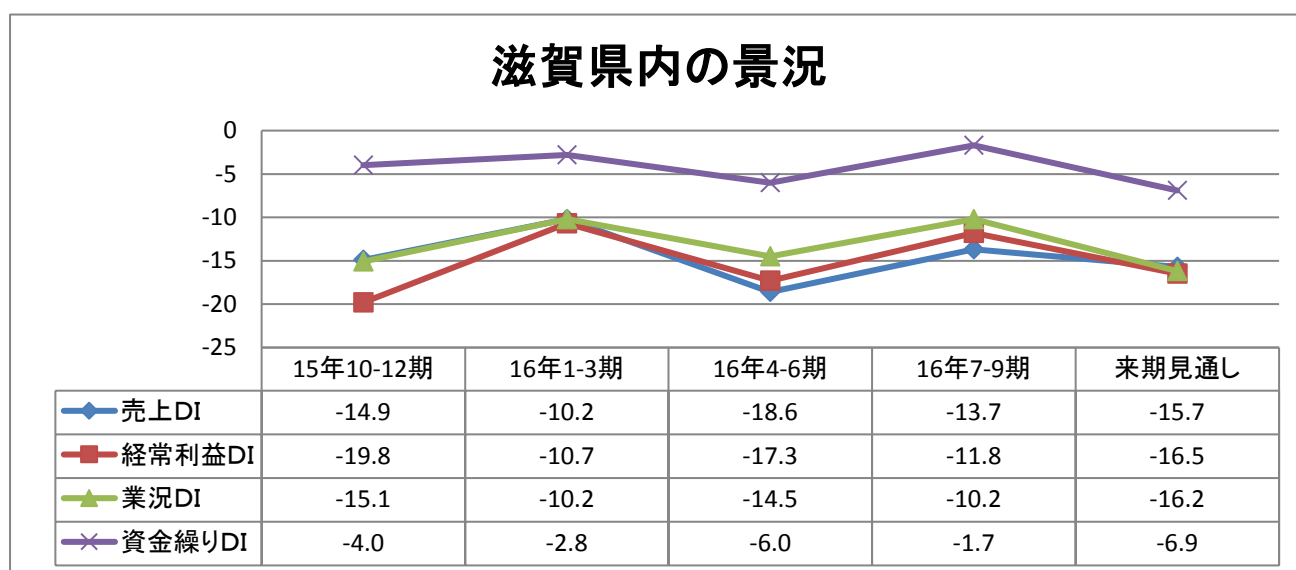
## II. 滋賀県内の経済動向調査 ー平成28年9月期ー

### 1. 調査内容

滋賀県内の経済動向として、公表されている以下の外部データを使用し分析を行った。

- ・滋賀県景況調査結果報告書（平成28年4月～6月期） 滋賀県商工観光労働部商工政策課
- ・滋賀県景況調査結果報告書（平成28年7月～9月期） 滋賀県商工観光労働部商工政策課
- ・滋賀県内企業動向調査 2016年4～6月期（株）しがぎん経済文化センター
- ・滋賀県内企業動向調査 2016年7～9月期（株）しがぎん経済文化センター
- ・中小企業景況調査報告書 平成28年4～6月実績 7～9月予測 滋賀県商工会連合会
- ・中小企業景況調査報告書 平成28年7～9月実績 10～12月予測 滋賀県商工会連合会

### 2. 滋賀県内の景況（全業種）

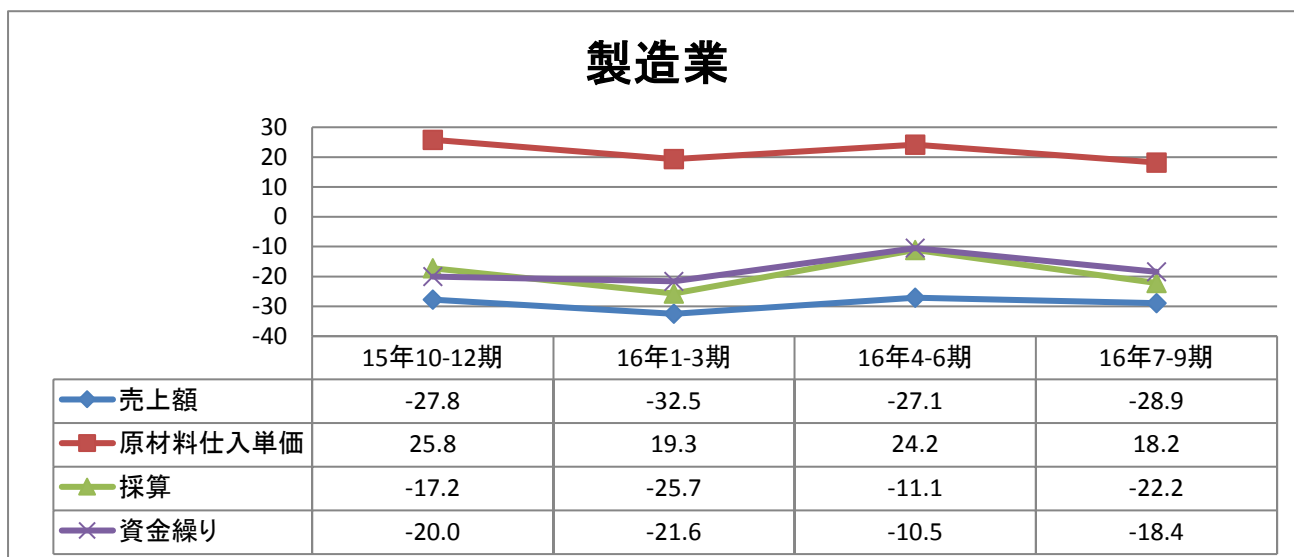


（出典：滋賀県景況調査結果報告書 滋賀県商工観光労働部商工政策課）

売上、経常利益、業況について、マイナス幅が若干減少しているが、依然マイナス領域にあり、来期の見通しについても厳しい状況にある。資金繰りについても多少良化は見られるものの、来期の見通しについては大きく落ち込んでいる。

### 3. 業種別景況

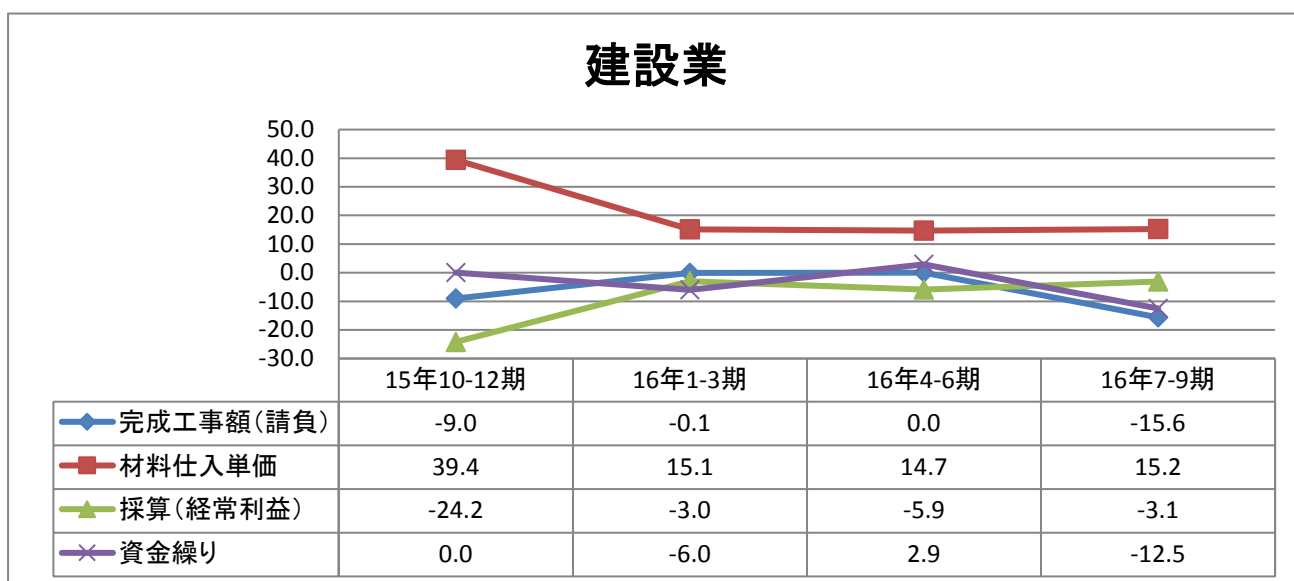
#### ①製造業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額、採算、資金繰りともに減少しており、需要の停滞による売上の減少が続いている。仕入単価の高騰は一時期に比べると減少しているものの、依然利益を増加させるだけの効果は出ていない。

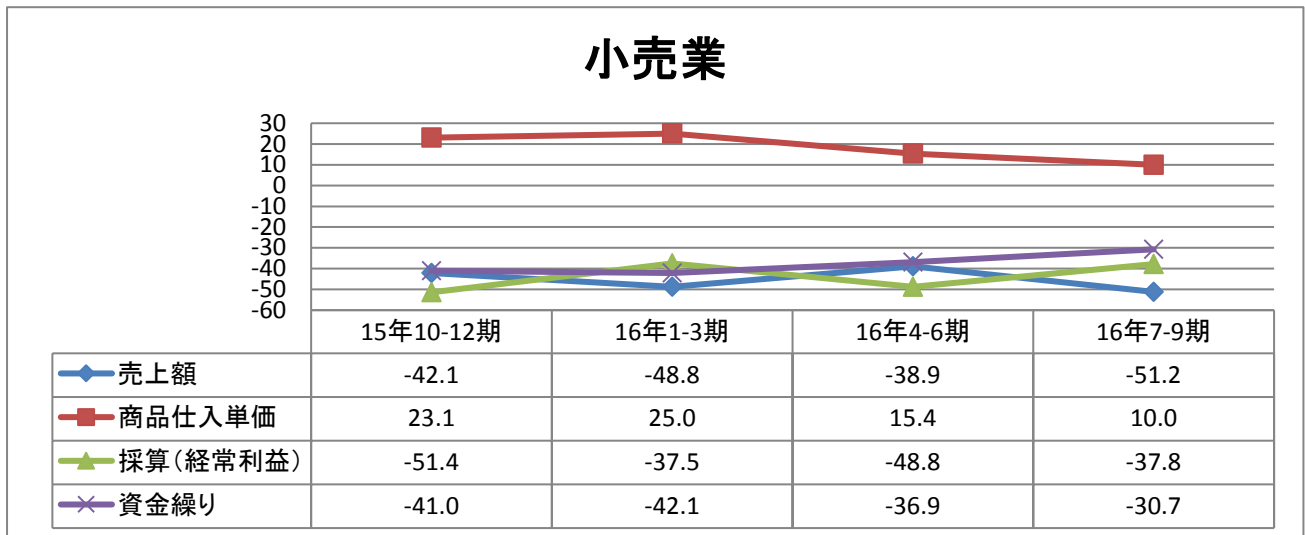
#### ②建設業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

完成工事額が減少しているものの、採算についてはマイナス幅が縮小している。民間需要が低迷する中、なんとか利益を出そうと経営努力が行われている。材料仕入単価については一時期見られた高騰は減少しているものの依然高い水準で推移している。資金繰りの悪化については引き続き注意が必要である。

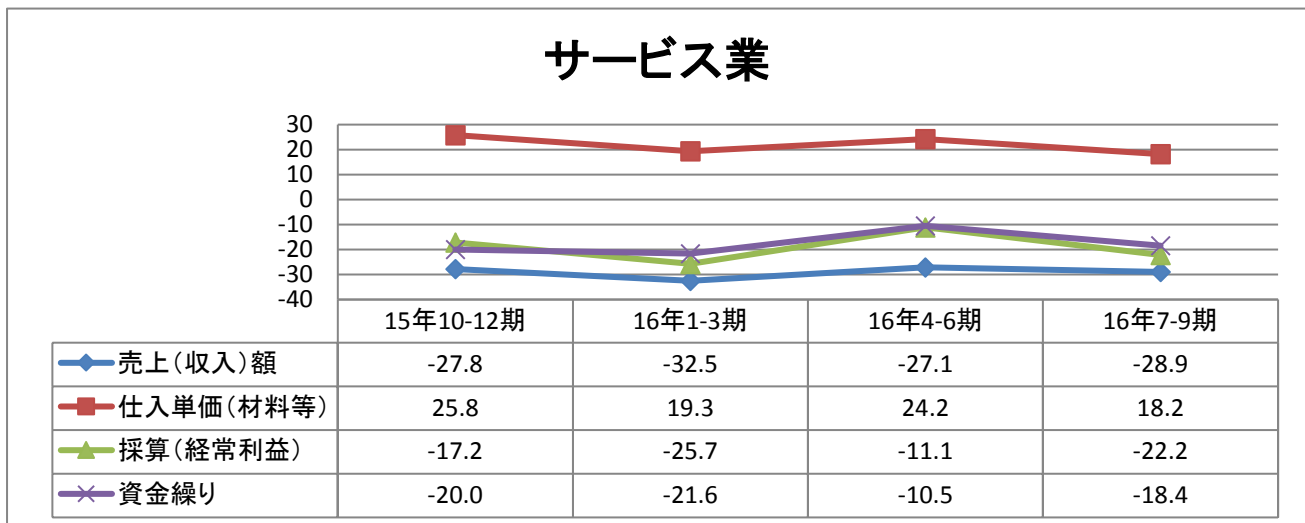
### ③小売業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上は大きく落込んでいる。採算のマイナス幅は減少しているものの、依然厳しい。消費者ニーズの変化に対応する必要を認識しているものの、打開策が見つからない状況であると考えられる。仕入単価については減少しているものの、上昇を感じている事業者がまだ多い。資金繰りについてもマイナス幅の減少が見られるも、低水準で推移している。

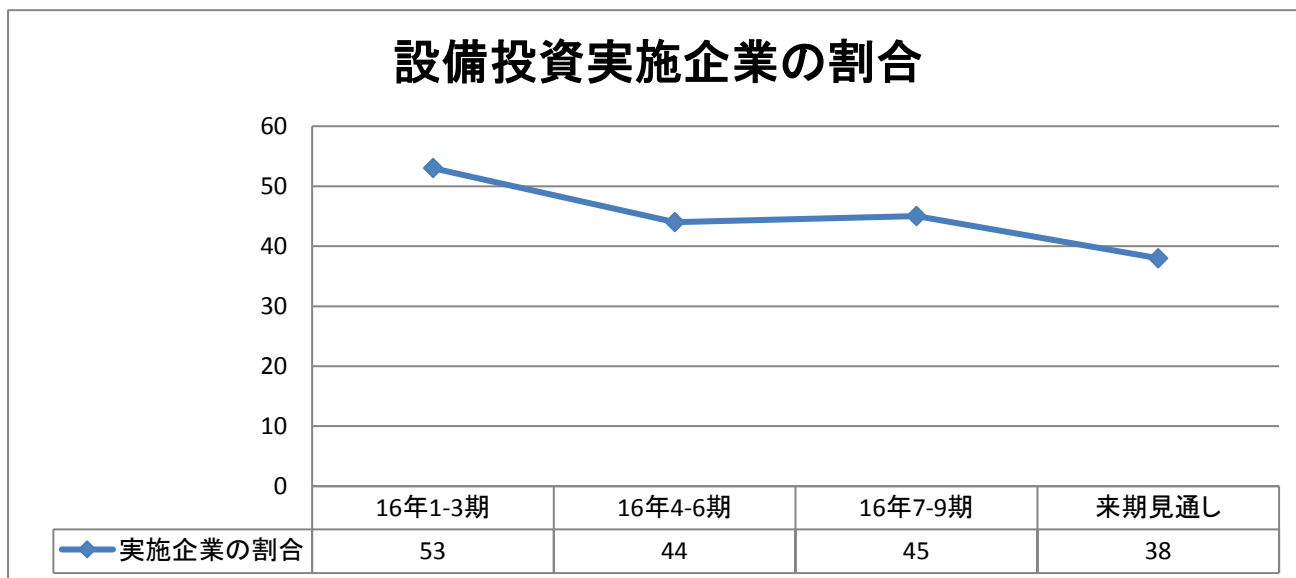
### ④サービス業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上、採算、資金繰りともにマイナス幅が減少しているが依然低水準で推移している。仕入単価についても減少しているが、上昇を感じている事業者がまだ多い状況にある。利用者ニーズが変化していると実感している事業者が多く、見通しについても厳しいと認識している。

#### 4. 設備投資の実施状況



	16年1-3期	16年4-6期	16年7-9期	来期見通し
製造業	56	46	49	38
非製造業	51	43	41	34

	16年1-3期	16年4-6期	16年7-9期	来期見通し
建設業	39	43	37	23
卸売業	48	54	46	36
小売業	52	37	33	36
サービス業	61	53	55	50

(出典：滋賀県内企業動向調査 (株)しがぎん経済文化センター)

全業種における設備投資実施企業の割合については、前4半期に比べ横ばいであるが、50%を切っており、来期の見通しについても減少している。業種別にはサービス業においては5割以上となっているが、建設業、小売業は30%台であり、見通しについても厳しい見込みをされている。

### Ⅲ. 彦愛犬地域内の経済動向調査 —平成28年9月期—

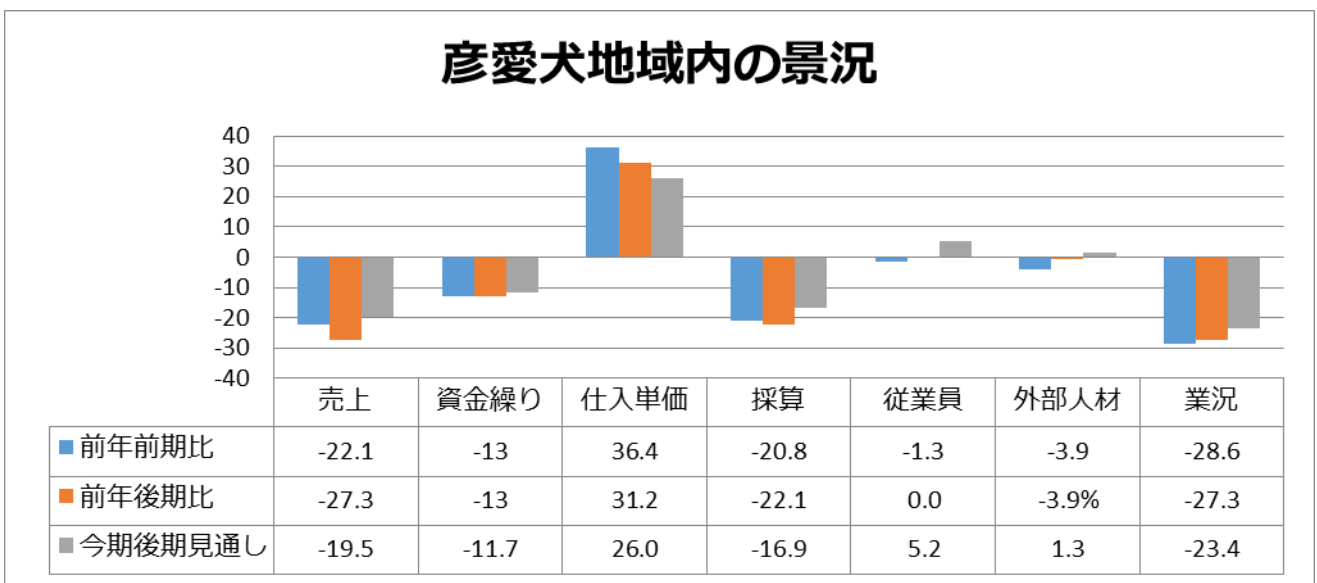
#### 1. 調査内容

9月～10月にかけて、地域内各業種の事業所を業種別に抽出し、9月期の業況についてアンケート形式での調査を実施した。回答を得た事業所数は77社であり、地域の小規模事業者の4.7%に該当する。業種別の回答事業者数は以下の通り。

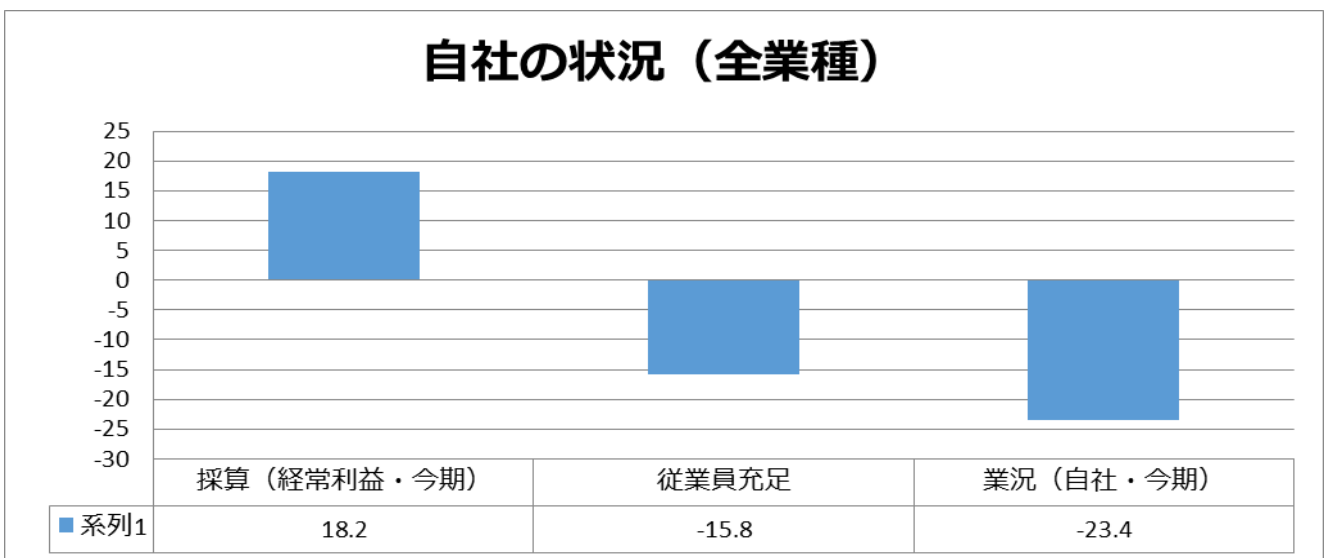
業種別回答事業者数

業種	事業所数
小売業	16
サービス業	20
建設業	18
製造業	15
卸売業	8
合計	77

#### 2. 彦愛犬地域内の景況（全業種）



売上、資金繰り、採算、業況については後期の見通しにマイナス幅の減少が見られるが、依然低水準である。仕入単価については現在上昇を感じる事業者が多い、後期の見通しにおいてプラス幅の減少がみられるが高い水準にある。



業況については悪化している中、採算（経常利益）については企業努力により捻出されている状況である。従業員数の不足を感じている事業者が多い。